

2017年6月13日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

### リオ州の治安情報第37号

#### コパカバーナ地区で銃撃戦が発生

報道によれば、12日午後4時30分頃、リオ市南部コパカバーナ地区の『サー・フェレイラ通り』付近において、警察官と麻薬密売組織との銃撃戦が発生しました。

#### 1 発生日時

6月12日（月）午後4時30分頃

#### 2 発生場所

コパカバーナ地区『サー・フェレイラ通り』付近  
（パバオン・パバオンジーニョ（ファペーラ）周辺）

#### 3 発生状況

- (1) 12日午後4時30分頃、UPP（リオ州軍警察平和構築部隊）がパバオン・パバオンジーニョ周辺の警戒活動を実施していたところ、これに対し、麻薬密売組織のメンバーが発砲したことから、UPPが『サー・フェレイラ通り』から応戦し、警察と麻薬密売組織における激しい銃撃戦が発生しました。
- (2) この銃撃戦により、19歳の少年が首に銃弾を受けて死亡、このほか女性1名が負傷したと報じられています。
- (3) 現場周辺には無数の空薬莢が散乱するとともに、周囲の混乱は夜中まで続いたと報じられています。

#### 4 留意事項

- (1) 常に周囲に気を配り、銃声を聞いた際には屋内など安全な場所に身を隠すとともに、可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにして下さい。
- (2) 麻薬密売組織等が使用している銃には射程距離が数百メートルのものがあります。遠くで銃声が聞こえるからといって安心しないようにして下さい。流れ弾の危険性が皆無ではありません。
- (3) 当地治安当局によれば、同パバオン・パバオンジーニョにおいて、麻薬密売組織が力を増大させているとの見方もあります。よって、今後断続的な当地治安当局による掃討作戦も予想されますので、可能な限り、同地区周辺道路の通行を控えて下さい。